

キャラクター名
天華 (ティエンファ)

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ		ワークス	UGN	エージェントC	カヴァー	ストリートファイター
	エグザイル						
オプション			年齢	32		性別	男
覚醒	探求	衝動	闘争		初期侵食率	35 %	
出自	双子	経験	闘いの日々		邂逅	織戸 静馬	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	39
肉体	5	0	0		4	9	行動値	3
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	3
精神	0	1	0			1	戦闘移動	8
社会	2	0	0			2	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転:			芸術:			知識:	2		情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費	
[05] 実験体/ロストナンバーP		N			
龍玉	P 尊敬	N 無関心			
立花 輝樹	P 尊敬	N 無関心			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:		6	残り財産P:		

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
完全獣化	3	6	マイナー	-	自身	自動	-	
効果: 肉体判定+ (Lv+2) D								
命の黄金律	3	5	マイナー	-	自身	自動	-	
効果: 肉体判定+ (Lv+1) D								
大蛇の尾	1	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: 命中時「硬直」付与								
蛇の動き	1	1	リアクション	至近	-	対決	-	
効果: ドッジ+LvD								
コンセントレイト: キュマイラ	3	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: C値-Lv								
リフレックス: エグザイル	3	2	リアクション	至近	自身	-	-	
効果: C値-Lv								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

武の道を探め、もとい極めんとす格闘家。「餓鯨我羅拳」と呼ばれる拳法の使い手であり、中国の華南地方にて決闘やストリートファイトに明け暮れていた中国人というバックボーンを持つのだが、どういふ訳か現在は日本のUGNに所属し、エージェントとして活動している。所属の目的は大方マスターレイスなどの実力者との手合わせのためであろうと予測されており、現在は組織からの信頼を勝ち取るために出向先で任務を淡々とこなしている。

常に無表情なうえ感情の起伏に乏しく、無駄な身振りも少ない。加えて日本語もリスニングはできてスピーキングが苦手であるため、彼と出会って間もない者は彼のパーソナリティを掴むのには苦労するだろう。しかし、UGNという組織の意思には必ず従う実直さと、彼から繰り出される確かな徒手格闘術はそんな新顔の信頼を勝ち取るには十分であり、同僚内での評判は悪くはない。その影響が任務で失ったかつての相棒の皮肉を現在の彼自身のコードネームとしており、彼の仕事を引き継いでいる姿さえも意外にも彼は義理堅いのではないのか? という噂が広がっている。

しかし、その相棒を殺したのは彼である。

「己が業で目の前の強者に打ち勝てるか」。彼が生の実感を感じられるのはその確認作業をしている時だけであるようだ。乗り越えたい、倒したいと感じた相手と相対した時には衝動が抑えられなくなり、どちらかが死ぬまでの死闘に臨む。オーヴァードに目覚めたのもその探求心の産物であり、彼の生きる世界にレネゲイドウィルスが散布されようがされまいが、彼という人間の性は変わらなかったであろう。また、「強者」と認める相手を打ち倒した場合、その人物が持ち者の一つを奪うという癖がある。初めて殺した同じ師のもとで切磋琢磨した双子の妹からは名前を、次に殺した最後の最後に醜態を晒した師からは餓鯨我羅拳の師範としての座を、UGNに所属してから殺したかつての相棒からは彼の組織上の立場を奪っている。彼の眼前に広がる人々の多くは全くもって関心を引かないエキストラ連なのだが、彼がその中に次の標的を見出した場合、その口元はわずかに綻んでいることはすだ。